

2024 年度決算報告

学校法人京都橘学園の 2024 年度決算は、2025 年 5 月 26 日に開催された理事会および同年 6 月 9 日に開催された評議員会において承認されました。

経常的な収入である教育活動収入および教育活動外収入は、前年度比で 14 億 300 万円増加しました。収入の大部分は大学・中高・こども園の学生生徒等納付金であり、経常収入の 74.7%を占めています。特に大学においては、新学部設置に伴う収容定員の変更等により在籍者数が増加し、学園全体としては前年度比 105%となりました。手数料収入(主に入学検定料)についても、大学の延べ入学志願者が前年度比 1.3 倍に増加したことにより、前年度比 110.4%となりました。また、学園創立 125 周年を迎え、多くの方々からご支援をいただいたことにより、寄付金収入は前年度比 121.2%となっています。国および京都府などから交付される補助金のうち、事業活動収入に占める割合は 19.8%です。経常費・運営費補助金は、大学新棟に関する補助金の影響もあり、前年度比 141.7%と大きく増加しました。こども園における施設型給付費については、前年度比 103.5%とほぼ同水準で推移しました。

支出面では、教育活動支出および教育活動外支出が前年度比で 7 億 500 万円増加しました。内訳としては、人件費が前年度比 105.6%、教育研究経費が同 109.3%(約 4 億円の増加)、管理経費は同 98.9%(約 1 千万円の減少)となっています。

2021 年度に設置した 3 学部の納付金が順調に計上されたこと、ならびに大学新棟関連の補助金収入などにより、事業活動収支差額比率は 13.4%から 17.7%へと改善しました。これに教育研究活動以外の特別収支を加えた基本金組入前当年度収支差額は、24 億 8 千万円となりました。

基本金の組入については、第 1 号基本金において、大学新棟建設(2026 年 2 月竣工予定)およびそのための用地購入、中学校・高等学校の新校舎建設(2026 年 7 月着工予定)などに伴う組入れを行い、組入総額は 42 億 1,100 万円となりました。また、第 3 号基本金では、奨学基金への寄付により増額となっています。これらの結果、2024 年度は 17 億 8 千万円の支出超過となり、繰越支出超過額は 65 億 2,800 万円となりました。

本学園では、2023 年度から第 3 次マスタープランを始動しています。2024 年度はこの計画に基づき、大学において 2026 年度の開設を予定しているデジタルメディア学部デジタルメディア学科(通学課程・通信教育課程)、工学部ロボティクス学科、健康科学部臨床工学科の準備を進めるとともに、ACADEMIC TERRACE の建設にも着手し、収容定員拡大に向けた取り組みを進めました。

なお、私立学園を取り巻く経営環境について、『令和 5 年度版 今日の私学財政』(日本私学振興・共済事業団)によれば、経営状況を示す事業活動収支差額比率の全国平均は 4.2%とされています。これに対し、本学園は 17.7%と、全国の大学法人平均を大きく上回る水準を維持しており、現時点では安定かつ健全な経営状況にあると判断しております。